

“鉄より堅く逞しき”

生徒指導通信 第29号
令和3年12月13日発行
黒沢尻工業高等学校

○危険回避能力を高めよう！

先日の朝5時半ごろ、東京都内を自転車で学校へ向かっていた男子高校生が、歩道を歩いていた70代の男性にぶつかってしまいました。その拍子に男性は車道に倒れ込んでしまい、走ってきたトラックにはねられて死亡してしまいました。

どうしてこのような悲惨な事故が起こったのでしょうか？ニュースによれば、早朝で周囲は暗かったということですが、自転車のライトは付いていなかったそうです。さらに、その高校生は両耳にイヤホンを付けていたということです。皆さんは、どうでしょうか？

このようなことにならないために、日頃から危険回避能力を高めおく必要があります。危険回避能力とは、危ない場所や状況をすばやく判断し、危険を回避するための行動を取るスキルを意味します。

では、どうすれば身に付くのでしょうか？1つ目は、実際に危険を体験することです。危険を体験するリスクを負う代わりに、その時どうすれば良かったのかという対策の答えを得ることができます。しかし、実際の体験がもたらすリスクは大きいので勧められません。

最も効果的なのは、テレビやスマホ等でニュースを知ることです。上記のような問題や事件について知っていれば、ある程度の対策が取れるでしょう。ライトは、暗くても見えるから点けないのではなく、周りに自分の存在を知らせるための物です。また、周囲の状況をすぐに察知して危険を回避するためには、イヤホンは絶対に付けてはいけません。

といったように、文章を読んで考えを巡らせることでも危険回避能力を高めることができます。身勝手な行動で大変な事故を引き起こさないためにも、心のアンテナを高くしておきましょう。



**走行中の
イヤホン禁止**

○今こそ、良いチームを築くチャンス！

明日は12月14日。皆さんは、『忠臣蔵』～赤穂浪士の討ち入り～を知っていますか？

赤穂藩主・浅野内匠頭が、江戸城内の「松の廊下」で吉良上野介に侮辱されたことに逆上して、斬りつけるという事件が起きました。第五代将軍の徳川綱吉は激怒し、浅野は切腹。一方の吉良には、なんのお咎めもありませんでした。

この頃の慣習は「喧嘩両成敗」でしたが、吉良に何の罰もなかったことを不服とする赤穂の藩士たちは、藩主の無念を晴らすべく、内密に吉良を討ち取ることを決めたのでした。

そして、1702年12月14日夜。筆頭家老だった大石内蔵助率いる浪士47名が吉良邸へ討入りし、仇討ちを成し遂げました。その後、赤穂浪士たちは切腹を命じられました。

今の時代、仇討ちは決して許されるものではありません。生徒の皆さんに考えて欲しいことは、クラスや部内で何か問題が発生した際、どのように考えて行動を取るかということです。クラスメイトや部員が何らかの問題を起こしたり、被害に遭ったときに「自分には関係ないから」となるのか、「もし自分だったらどうするか」、「あの人のために何かできないか」と考えるかでは、その後に違いが生じます。

人間ですから、失敗や間違いはあるものです。それを他人事にせず、自分に投影してみるのが大切です。自分に置き換えることで“経験”となって生きてくるはずです。その繰り返しから、仲間との関わり方にも良い変化がもたらされる可能性が大いにあります。

同じクラス、部の仲間を蔑ろにせず、しっかり向き合って支え合うことで、より良いチームが築かれます。みんなで声を掛け合いましょう！